

科目名		授業形態	担当教員名	
幾何光学		講義	中谷 勝己	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 ( 1 単位)		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>‘見える’という感覚は光の刺激によって起こります。眼科には眼鏡レンズやコンタクトレンズ、その他多くの検査機器にレンズが使用されています。この授業では、「光に関わる現象」「レンズによる結像」「レンズの倍率、収差」を理解することを目的とします。</p>				
授業の到達目標				
<p>以下のことを到達目標とする。①光の反射、屈折等について理解できる。②物体から出る光がレンズに入射した時の結像の仕方について理解できる。③レンズの倍率を求めることができる。④収差について説明できる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	光学の種類、光を説明する語句、電磁波			
2	光の性質			
3	反射の法則、屈折の法則			
4	臨界角と全反射			
5	レンズによる結像 (作図)			
6	レンズによる結像 (関連する語句)、眼球を1枚の厚いレンズとした場合の主要点			
7	像の位置を求める式、物体と像の位置関係			
8	レンズの倍率、収差			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
視能学 第2版	丸尾敏夫 他	文光堂		
視能学エキスパート 光学・眼鏡	松本富美子 他	医学書院		
視能学エキスパート 視能検査学	和田直子 他	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
目でみる視力・屈折検査の進めかた 改訂第2版	所敬 他	金原出版		
理解を深めよう視力検査屈折検査	所敬 他	金原出版		
自由記載				
備考				
生理光学 I と連動して授業を進めるため、進捗状況によって変更が生じる場合があります。				